

和顔愛語

勝間田小学校校長だより

「和やかな顔と思いやりの言葉」で人に接すること



じょうずな聴き方をされると気持ちがよかった

先日、「人間関係プログラム」といって、じょうずな人とかかわり方を学ぶプログラムに各学年取り組みました。この感想がすてきなものが多いので、紹介しますね。

ふうせんゲームで、声をかけあったから、なかよくできそうです。だって、お互いに名前を呼び合ったからです。

みんな姿勢がよかったです。だから、みんなかっこよかったです。

ふうせんゲームで、ふうせんをみんなにわたせました。よかったです。また、やってみたいです。

男の子や女の子、いろいろな人と話せたり、いろいろなことを聞けたりしました。これからも、今まで、あまりしゃべっていなかった人と話せるようになりたいです。

ふだん友だちの好きなことを聞いたことがなかったから、たまには聞いてみるとういなると思いました。そうして、もっと仲良くなりたし、ずっと友だちでいたいです。



ふだん話をしていない人と、もっと仲良くなったし、知らない秘密のことも知って、もっと仲良くなって、このゲームをやってよかったなあと思いました。

みんなの知らない一面を知ることができてよかった。みんなそれぞれ同じ質問をしても、考えや答えが違ってました。たくさんの人とやって仲良くなれました。返す言葉がいろいろ違って、同じ人もいれば、違う人もいて、いろいろな人がいることがわかって楽しかった。

相手に上手な聴き方をされると気持ちがよかったので、自分も上手な聴き方をしたいです。少しでも反応してもらえると気持ちがよくなるのがわかりました。自分も反応をしながら聴きたいです。



聴き方が上手にできたら相手もうれしいし、こちら聞き間違いがなくなるから一石二鳥だと思います。そして、どっちもいい気分になれることがわかりました。

相手に、いい反応をすると、いい気持ちになります。あと、人の気持ちを聴きとるのは難しいと思いました。これからは、やっていることをすぐにやめて、最後まで話を聴きたいです。話している人がいい気持ちになるようにしたいです。





聴き方ひとつで、こんなに「うれしい」「もっと話したい」となったり、「しゃべりたくない」になったりするとは思わなかった。だから、聴き方を大事にしようと思った。

私の話を相手が聴いてくれて、私はすごくうれしかったです。聴いている人が話す人を見ていると嬉しいです。私はうなずきながら聴くのが苦手なので、これからはがんばりたいです。これからも話す人の方を見て聴きます。

話している人が気分よく、「もっと話したいな」と思う行動をしていきたいなと思いました。ちゃんとうなずいたり、反応をしたりしていきたい!!

話をするときは、無視されたり、こっちを見てくれなかったりすると悲しいし、話をしたくなくなりました。だから、私が人の話を聴くときは相手の方に目と身体を向けて反応をしたり、笑顔で聴いたりしたいと思いました。

今日、悪い例の話を聴き方をしていた時に、いつもあたたかい聴き方を意識していたから、違和感があった。話すときは、みんな、いつものように聴いてくれたからたくさん話す気持ちになれたし、うれしかった。

無視をされるといやな気持ちになるけれど、反応をしてくれると、すごくいい気持ちになりました。だから、人が話しているときは、身体を向けて、ちゃんと反応して聴いていきたいと思います。

がんばって話したのに、聴いてもらえなかったら悲しいということがわかりました。だから、しっかり聴く。それも、反応をしながら話している人を向いて聴きます。反応が上手にできてよかったです。



やっぱり何かをしながら話を聴くのは難しいと思いました。だから、これからは、手を止めて人の話をしっかりと聴いて理解することが大切だということがわかりました。



今年の勝間田小は「すきです♡ さらりな自分 さらりな友だち さらりなふるさと」を重点目標にして、「仲よしで、お互いに教え合える学校」を目指しています。子どもたちの言葉から、勝小が目指す姿に一步步近づいていることを感じ、うれしく思います。